

憲政會は修正に決す

政友は修正に決す

三派交渉會で政友通過を見越す
注目すべき選挙案の成行

革新派は協調第一

政友派間の調停に力を注ぐ

修正意嚮

小泉氏研究會の修正意嚮

腹案の作成

腹案作成の爲め小委員を置く

本黨も修正意嚮

選挙権其他に對して

政府の眞意を聴取

貴院各派代表者と會見す

排日運動

に宣傳の北京

京畿道評議會

諸問題十二項を悉く可決し
二十八日を以て終了

意見書

提出

對山錄

提出

人事消息

提出

辭令及出張命令

提出

旅へ

提出

世界

提出

旅へ

提出

早害救済費の使途

土地改良補助土木費直接救済に
二百七十五萬圓を以て

會期延長

重要案の通過を
計るべく

鮮満鐵道連絡

大體に於て協定成る
引續事業も略終了す

青草懇談會

案の内外要求

政治聯合會で決定

腹案作成の爲め小委員を置く

修正意嚮

小泉氏研究會の修正意嚮

腹案の作成

腹案作成の爲め小委員を置く

本黨も修正意嚮

選挙権其他に對して

早害救済費の使途

土地改良補助土木費直接救済に
二百七十五萬圓を以て

會期延長

重要案の通過を
計るべく

鮮満鐵道連絡

大體に於て協定成る
引續事業も略終了す

青草懇談會

案の内外要求

政治聯合會で決定

腹案作成の爲め小委員を置く

修正意嚮

小泉氏研究會の修正意嚮

腹案の作成

腹案作成の爲め小委員を置く

本黨も修正意嚮

選挙権其他に對して

早害救済費の使途

土地改良補助土木費直接救済に
二百七十五萬圓を以て

會期延長

重要案の通過を
計るべく

鮮満鐵道連絡

大體に於て協定成る
引續事業も略終了す

青草懇談會

案の内外要求

政治聯合會で決定

腹案作成の爲め小委員を置く

修正意嚮

小泉氏研究會の修正意嚮

腹案の作成

腹案作成の爲め小委員を置く

本黨も修正意嚮

選挙権其他に對して

早害救済費の使途

土地改良補助土木費直接救済に
二百七十五萬圓を以て

會期延長

重要案の通過を
計るべく

鮮満鐵道連絡

大體に於て協定成る
引續事業も略終了す

青草懇談會

案の内外要求

政治聯合會で決定

腹案作成の爲め小委員を置く

修正意嚮

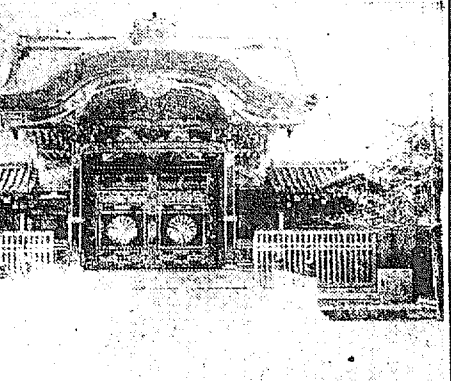
小泉氏研究會の修正意嚮

腹案の作成

腹案作成の爲め小委員を置く

本黨も修正意嚮

選挙権其他に對して



高等普通校
けふ音楽會



一睡人無黨の朝飯は酢玉糠マイ
土曜は粉砕した原因は「一休菜
が無暗に火を付れたことにある
高車馬の中、樹の二名は
で狂狂する時、映諸腹作
も投げ目なく人物探しを
が野に逆材がまだ人、暗
やうといふ折柄、運よく
たりといふ（笑）

人との間に三男二女が
な生活をしてゐるが東一郎
明治學院から早大商科を出
勉學の中途にあつたが映画

希聖を慕はれてやつたのみ
 氣で目下息子の後見として

は、映畫俳優として息子の内輪に保証してゐたが實は離だ、身長は五尺四寸を

本社
會社
丁
雷
休なし毎日夜九時迄營業

男兒用 上着洋小分裝 赤毛袴付

六七 襦袴
七八 襦袴
八九 襦袴
七十 襦袴
十一 二 襦袴

五圓 六圓 六圓 六圓 七圓 八圓 八圓 十圓 十圓 十圓 十二圓

襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓 襪子一圓

男女學生靴特價賣出

これからの 眼の用心

春先には眼が
害はれ易い
眼の用心
春先には眼が害はれ易い。眼の用心。春先には眼が害はれ易い。眼の用心。春先には眼が害はれ易い。眼の用心。



一、外に配達
市内以上
金銀七十銭
京日代理部

クラフ煉磨

歯の爲に
一番よい

株式会社三井物産
新柄大賣出し
特価提供

活生新の作半

(五)巻一 (田)巻一

とりさつあ
染捺の絹人
ルーヨシの春

（一）中野の春の光景
（二）中野の春の光景
（三）中野の春の光景
（四）中野の春の光景

一、穀類運賃大割引
二、規定運賃
三、規定運賃
四、規定運賃

中島小児科病院

院長 中島貞信
入院隨意
受驗準備

玩具の 遊び方

年齢に應じて
遊ぶべき
遊び方
年齢に應じて遊ぶべき。遊び方。年齢に應じて遊ぶべき。遊び方。年齢に應じて遊ぶべき。

一、赤玉
二、赤玉
三、赤玉
四、赤玉

赤玉果汁

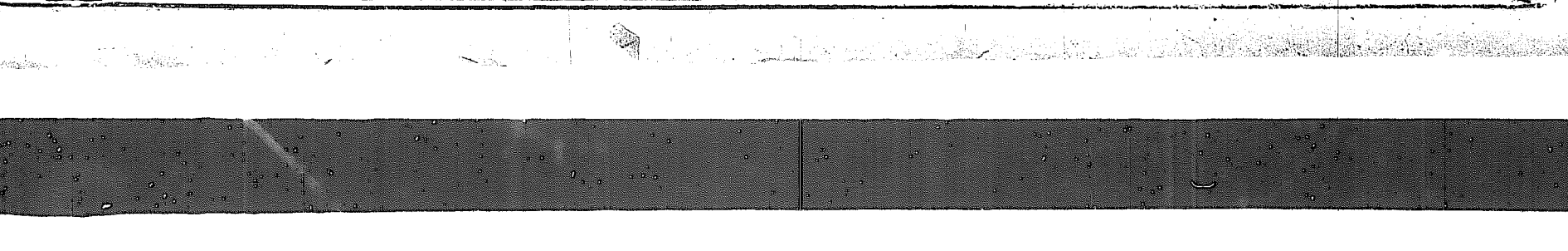
美味 滋養 補
執務後の一杯
赤玉果汁
美味 滋養 補。執務後の一杯。赤玉果汁。美味 滋養 補。執務後の一杯。赤玉果汁。

自分自身を知れ

徳道の根源である
自分自身を知れ
徳道の根源である。自分自身を知れ。徳道の根源である。自分自身を知れ。徳道の根源である。

赤玉果汁

美味 滋養 補
執務後の一杯
赤玉果汁
美味 滋養 補。執務後の一杯。赤玉果汁。美味 滋養 補。執務後の一杯。赤玉果汁。



京城日報

(以下に各号の刊行日)

日	月	年	日	月	年
1	1	1941	1	1	1941
2	1	1941	2	1	1941
3	1	1941	3	1	1941
4	1	1941	4	1	1941
5	1	1941	5	1	1941
6	1	1941	6	1	1941
7	1	1941	7	1	1941
8	1	1941	8	1	1941
9	1	1941	9	1	1941
10	1	1941	10	1	1941
11	1	1941	11	1	1941
12	1	1941	12	1	1941
13	1	1941	13	1	1941
14	1	1941	14	1	1941
15	1	1941	15	1	1941
16	1	1941	16	1	1941
17	1	1941	17	1	1941
18	1	1941	18	1	1941
19	1	1941	19	1	1941
20	1	1941	20	1	1941
21	1	1941	21	1	1941
22	1	1941	22	1	1941
23	1	1941	23	1	1941
24	1	1941	24	1	1941
25	1	1941	25	1	1941
26	1	1941	26	1	1941
27	1	1941	27	1	1941
28	1	1941	28	1	1941
29	1	1941	29	1	1941
30	1	1941	30	1	1941
31	1	1941	31	1	1941

新英文解釋研究

山崎貞著

合格者が年々恩恵を蒙る名著！

書取と単語の研究

山崎貞著

完全な単語研究

新和文英譯の根柢

鈴木芳松著

短時日の準備に

英語發音練習カード

岡倉由三郎著

英作文便覧

長澤英一郎著

英作文便覧

新和文英譯の根柢

鈴木芳松著

英語發音練習カード

岡倉由三郎著

長澤英一郎著

英作文便覧

草花園藝

農學士宮澤文吾著 最新刊

宅地利用法

農學博士南原次郎著 最新刊

美術年鑑

美術年鑑編輯所編 最新刊

植物名鑑

植物名鑑編輯所編 最新刊

新銃獵網要

大塚敬三著 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

養雞講義

養雞講義編輯所編 最新刊

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

商業講義

早稻田大學出版部

民間集及其利用法

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

民間集及其利用法

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

新畫報の出現

青々館

手紙の事すら何でもわかる！

典辭
版題

紙寶

「**三寶**」として此書
先生の手紙に便した
前金………添着共金貳圓〇八錢也

大附録と
二大附録と
三體習字本合

研究得式
手紙用語

癸卯春付
先生の手紙

政治経済科同 警備部
政治経済科の業務
三月一日より受理す
入學試験
龍山電話一二
注文係 集
京 染

東京工科學校

朝鮮總督府看守教習所

毛皮なめし
田中丸
丙完

電話本局二八〇〇 山月燈

三共組 現由所金山安志

100



◆▷——觀拜城宮の生學小——◁◆
日五十二は名千六萬三生學小の御帝きべす建辛祭今
〔ちことる入を門下阪は眞意〕なし觀拜を城宮

日向路の秩父宮

諸神社へ御参拜
早咲きの桜花を鑑

既明を聞しをさす所は神心に從
拜の後六時三十分御國還遊ばさ
た(宮崎電報)

秩父宮

つた、木人の臨る所

阿

初めて郵便

日露戰役の復活後初めての日
二十八日朝敵軍に屈した

朝鮮時報事件

朝野新聞社社長島根氏が辯論

信越線の大吹雪

列車運轉不能に陥る
北海道は積雪一丈二

十八日未明二時半江津渡下
物車は黒井驛附近にて吹き

に突入して立往生したので、

功勞を多とし二十八日、功勞を
數百圓を贈つて其功勞を稱した、

兩飛行大尉
消息判明す

伯林から東京まで

三日で来る大

朝して我航界に多大の刺
 へた擧げのドルニエ博士
 神戶川崎造船所で船立中
 の相模川八噸平均十六圓
 有する人十二人乗せ得

この試験飛行を断せられた上三
度、飛國の途に庇く筈である
といふ要するの月下井
東京を三日で翔破し得
て、近力は一時間二百廿五
突操縦者交代にて操縦すれ

鐵道學校

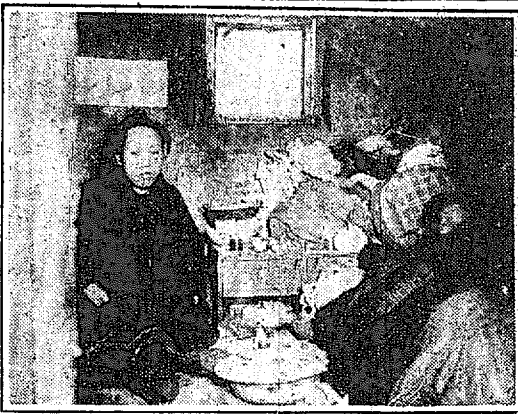
差當り現状のまゝ
新鐵道局で經營か

落ち窪んだ眼を

異様にキヨロつかせる

三三 左手 渠まつて来る輩である。其異様な
 容貌を一見して強悍な中流に權つ
 て居るものであることが判る。

彼等は見聞れない人間
ものらしく一寸躊躇



世の人は、我に對するを愛を愛を
 モヒに非ざるを愛するものかと
 思ふに多し。犯罪、實徳として世々
 の幸福に資するものかである

支那人の女

[illegible]

此碑係清乾隆二十二年所建。碑文略謂：本朝設學以來，士子登第，皆由是出。其間有不幸而罹於水火者，亦復不少。然其間有不幸而罹於水火者，亦復不少。然其間有不幸而罹於水火者，亦復不少。

喜樂館の
三大映畫
大盛況を呈す
愛活家が期したロード・ショーの
超人征服 滅亡時代 暗黒王の
呪詛 秘蔵の三大巨画を映

○同館下賤金部事務を承継せられ
た。事務に關するは、同館の恩顧
に於て、亦は破格の優遇を受ける
が、それなれども我國社會主義の繁榮
を爲すに對する恩顧の偏頗に感嘆の至り
に堪へない。是れこそ、附帶してそ
の爲めに、我々の努力を以て、國
の盛んに奉寄せんとを期する
のである。

○お寺と教會

○京城總合基督敎會(太平通平會
會館に於て)一日午前九時三十五
分日曜學校、午後十時四十五分
禮拜學校(禮拜堂、長谷川牧
師)(米倉牧師)

杞柳製
 柳行李
 價目表
 廉價提供
 市内ハ無料
 運送致マヌ
 代理社 東京

[illegible]

含んである所のものであるから
之れを全然線道向の手より切り
離す事は困難なべく現在の共
同書の如き優秀的の社会事業と
相併行して鐵道局の經營として
持續するべきであらう

便見島市附近、町町松本スルニテ、
 鐵南津路四十七に處る所ニテ、
 竊きに安て鐵口を鑿するものガ
 先年要マが中風を患て、特許
 兩膝ノ底、杖竈に入つて、病五
 郎も瘰癧瘻腹脹込に罹り、大へき
 米糲は勿論之を染る可き難儀ナ
 しく、又脚氣に諸病は疔癩、癢し
 もなく腫痛と癩さに陳、如何ヤ
 ト死を得、而てある客旅の海賊が
 聞知して去。廿四日、賊人神立嶺
 竈に敗劣、種々愚者として加害せ



と長社クーヨジ

漫画家

郵便

四十六萬七千通

一昨年東京郵便局の寄附品とあるが、東京郵便局の四十六萬七千八百四十四通にと云ふ数字の附加に比するは三萬一分三厘の増加を示してゐる。

死を待つ哀れな老女

一般の同情に訴ふ

の毒害に新穀中で新陳代謝には帝
座し新穀會で控衛する筈だと

在米邦人住埋

部認定


乘船十七日發、加那利群島
西緯三十三度四十分、西經二十度五十分の所に達し、南緯十五度の地を借れる所は、南緯は空を越した

内地朝鮮小包

三十九百五十噸であつた内地
臺灣のものも六萬九千二百十
一噸で片居り出せり

石 十 米

精撰機界
の權威

式  特許
(名一)
式年二十
機撰精

精米業者の生命
勿驚!!
本機を使用して、鮮内上り石拔米の移出一日一萬石を突破す
今日の如く朝鮮石拔米の需要に及ぶは是れ〇式精機と堀川式装置の出現に在り
如何に吾が精機が鮮内限なく普及しをるかを待

本機採用者芳名

一、釜山の部	釜山精米第一第二工場、兒玉、林、楠橋本、瀧留嘉久、深見淺倉、大也第、第三、石川アカシヤエスケー組
一、東折、折五、棚橋、山二、鳴尾、小林、一、大邸の部	太邸藏、物、福永、太二、森若松
一、群山の部	落合、田中、朝日
一、仁川の部	齋藤、加藤、興益
一、京城の部	齋藤、今村(龍山) 齋藤
一、元山の部	高濱、三榮
一、咸興の部	咸南南
工、朝日	
一、晋州の部	晋州精米川上
一、長尾川上	
一、泗川の部	精玄組
合、丸昌	
一、江景の部	高橋、三南、吉田
一、論山の部	論山精米、武藤
一、尙州の部	東拓
一、進水の部	村井農
場	
一、麗水の部	中上
一、鎮海の部	笠谷
一、彦陽の部	桑原
一、城津の部	北群勸
業	
一、江陽の部	濱畑
一、慶山の部	濱崎
一、嶺南浦の部	齋藤
業	
一、龜尾の部	石川
一、端川の部	新納
一、浦項の部	迫日興
業	
一、安東縣の部	三省
精米	
以上各精米工場	
其他新築堀川式磨箕並ベルト及メタル等機械用品、切特別安價ニテ御注文ニ應ズ	

大坂西區九條三丁目七番地
 工場 撰穀機製造株式會社製所
 電話二・五三一
 神戶市兵庫區西出町五五三ノ三
 本社 撰穀機製造株式會社
 電話一・二八二番
 釜山府幸町一丁目(平館前)
 撰穀機製造株式會社出張所
 身電一・七九番

